

### 1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4071600912
法人名	学校法人 久留米ゼミナール
事業所名	グループホーム 御井つつじ苑
所在地	福岡県久留米市御井町2011番地 (電話) 0942-45-0967

評価機関名	福岡県社会福祉協議会
所在地	福岡県春日市原町3-1-7
訪問調査日	H21 6月 19日
評価確定日	H21年 8月 6日

【情報提供票より】 (平成21年5月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 12年 11月 1日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	30 人 常勤 21人, 非常勤 9人, 常勤換算 25.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての ~ 1・2・3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	15,500 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要 (平成21年5月28日現在)

利用者人数	26 名	男性	5 名	女性	21 名
要介護1	1 名	要介護2	8 名		
要介護3	6 名	要介護4	9 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.4 歳	最低	58 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	渡辺医院・新古賀病院・毛利歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、3階建て3ユニットで、畑が広がるのどかな住宅地の高台にあり、近郊の風景が見渡せる。周辺には大学や高等学校、研究施設が隣接している。広くてゆったりとした事業所内では、毎日リハビリ体操や嚙下体操を行っている。食事は嗜好調査を基に利用者の好みにあった献立で、味付けも一人ひとりに合わせる等、細かい配慮がなされている。新設したベランダはウッドデッキで斜面に作られ、周り一面緑に囲まれて自然を満喫でき、利用者の憩いの場となっている。地域とのかかわりでは自治会に加入し、地域密着型の事業所として定着している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価の改善課題については、改善計画を立て「権利擁護に関する制度の理解と活用について」は、資料を取り寄せて内部研修を行う等、具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員の意見を聴取し、管理者が集約している。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>運営推進会議を定期的に開催している。現状や今後の活動計画及び外部評価等を報告し、委員から意見や要望を聴取している。委員からはボランティアの受け入れについて等、活発な意見が出て、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	<p>意見箱を設置している。来訪時に声かけする等、積極的に家族等の意見、不満、苦情を聴取するように努めている。第三者相談窓口は重要事項説明書に明示し、利用開始時に説明している。また、第三者相談窓口のポスターを、日常利用するエレベーター内に掲示している。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>自治会に加入し、事業所便りを地域に回覧している。地域の祭りや清掃当番等に参加し、地域との交流に努めている。また、近隣の大学からホームヘルパーの実習生を受け入れている。</p>

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えているサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念に「地域とふれあい、その人らしい生き方を」と地域密着型の視点が加わっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎日の朝礼や申し送り時に理念を唱和し、実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支え合い</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、事業所便りを地域に回覧している。地域の祭りや清掃当番等に参加し、地域との交流に努めている。また、近隣の大学からホームヘルパーの実習生を受け入れている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員の意見を聴取し、管理者が集約している。前回評価の改善課題については、改善計画を立て「権利擁護に関する制度の理解と活用について」は、資料を取り寄せて内部研修を行う等、具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行っている。現状や今後の活動計画及び外部評価等を報告し、委員から意見や要望を聴取している。委員からはボランティアの受け入れについて等、活発な意見が出て、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、行政へ月1～2回出向き、またメールや電話等で日常的に行政担当者と連携を図っている。行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
7	10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度に関する資料を基に内部研修を行い、全職員の周知徹底を図っている。家族等には、契約時や必要に応じて制度の説明をしている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、暮らしぶり等の手紙を送付し、隔月1回、事業所便りを送付している。緊急時には家族等に電話で状況報告や連絡を行っている。金銭管理については、金銭出納帳記録のコピーを送付し、金銭預かり時と本人の利用時にサインをもらっている。</p>		
9	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置している。来訪時に声かけし、積極的に家族等の意見、不満、苦情を聴取するように努めている。第三者相談窓口は重要事項説明書に明示し、利用開始時に説明している。また、第三者相談窓口のポスターを、日常利用するエレベーター内に掲示している。</p>		
10	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職を最小限に抑えるよう、管理者が職員の相談にのる等している。職員が異動した場合は、利用者のダメージを防ぐため、職員の引継ぎ期間を十分に設けている。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用にあたっては公平性を持ち、性別や年齢で採用対象から排除しないようにしている。配置・昇進、教育訓練、定年・退職等において、差別なく誰もが安心して働ける職場環境を目指している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>管理者は人権教育の重要性を認識し、全職員で人権に関する内部研修を行っている。事業所にテキスト・研修記録を整備している。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、全職員が日常的に学ぶことを推進し、外部研修の案内は回覧等で全職員に周知している。内部研修を計画的に行い、また、外部研修受講者による報告会を行っている。研修資料等は見やすくファイルしている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内の同業者ネットワークに2つ加入し、管理者や職員が意見交換や研修等に参加している。そこで出た要望等は行政へ相談する等、サービスの向上に努めている。</p>		
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に見学や体験入所、自宅訪問等を行い、なじみの関係がもてるよう家族等と相談しながら工夫している。やむを得ず即利用の場合、職員は利用者に寄り添い、場の雰囲気に徐々に馴染み、安心感を持てるよう支援している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は共に暮らす同士として、利用者から料理、昔の行事やしきたり等を教えてもらう場面がある。また、縫い物、活け花等、利用者の得意分野で力を発揮してもらい、職員と利用者が共に過ごし、学び、支えあう関係を築いている。</p>		
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日々の関わりの中で、利用者に声をかけ、一人ひとりの思いや希望にそった支援をしている。意思疎通の困難な利用者には、家族等から情報を得たり、日常の観察、表情、しぐさ等から意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、全利用者、家族等の意向及び全職員の気づきを取り入れ、作成している。本人・家族が了承したサイン又は押印がある。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回、また利用者の状況に応じて、日々の記録やチェックシートを基に介護計画を見直し、その都度家族等へ連絡している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際は、利用者を見舞いながら、本人・家族・医療機関と協議し、早期退院に向けて取り組んでいる。通院や送迎等の必要な支援は、柔軟に対応している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族等の希望を大切にし、今までのかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
22	49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期のあり方について、対応指針がある。入所時に家族等へ説明し、利用者・家族等の意向を大切にしながら本人、家族等、かかりつけ医、職員で話し合って合意を図り、全員で方針を共有している。</p>		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>内部研修等で職員の意識向上を図っている。日常的にプライバシーの確保について職員間で話し合い、管理者等是对応に努めている。個人情報の使用については家族等に説明し、同意をもらっている。</p>		
24	54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの体調等に配慮しながら利用者のペースを大切にし、その日その時の気持ちを尊重している。希望があれば近隣をドライブする等、柔軟に支援している。</p>		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員と一緒に準備、食事、片付けを行っている。食事は嗜好調査を行い、誕生日には本人が希望する献立を提供する等し、食事が楽しみなものになるよう支援している。</p>	○	<p>利用者と職員が共に暮らす視点から、職員はできるだけ毎食利用者と同一テーブルで同じ物を食べ、一緒に味わいながら食事をしてほしい。</p>

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>大まかな入浴時間の設定はあるが、利用者の希望にあわせて柔軟に対応し、入浴を楽しめるように支援している。入浴拒否の人にはその原因を探る等してタイミングを計ったり、声かけの職員を代えたり、言葉かけを工夫する等、臨機応変に対応している。</p>		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>職員は利用者の出来ることや得意なことを把握し、掃除、洗濯物たたみ、体操の号令掛け、らっきょう漬け、裁縫、活け花等、一人ひとりの力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>		
28	63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の状況や希望また天候に配慮して、散歩や近場へのドライブ、遠方への旅行、外食や買い物、地域行事等、希望にそって戸外に出かけられるよう支援している。</p>		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室は施錠していない。立地条件で玄関はやむを得ず施錠しているが、家族への説明を行い、同意を得ている。職員は鍵をかけることの弊害を理解し、2階ベランダの出入り口は開錠し、鍵をかけないケアに工夫して取り組んでいる。</p>		
30	73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを整備している。年2回、消防署及び地域住民に参加協力を呼びかけ、避難訓練を実施している。非常用食料や飲料水、備品等を準備している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養摂取量及び水分摂取量が全利用者分ある。献立は、利用者の嗜好や状態に配慮して栄養士が作成し、カロリー計算をしている。利用者の誕生会等の行事時は、本人の希望する献立を作成している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関の活け花コーナーは利用者が活け、季節感を演出している。共用空間には利用者と職員の共同作品や利用者が制作した絵画を飾り、家庭的雰囲気や利用者が制作した絵画を飾り、家庭的雰囲気に配慮している。不快と感じる音や光はなく、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の希望で和室または洋室が選択でき、ベッド、布団、整理筆筒やテーブル、鏡や時計等、使い慣れたものが持ち込まれ、写真や自分の作品等を飾っている。その人らしい個性を尊重し、居心地よく過ごせる居室となっている。</p>		

※  は、重点項目。